

埼玉県営水道長期ビジョン 前期(平成24～28年度) 実績評価結果概要

実現方策の評価結果

(1) より安全・安心で良質な水の供給

ア. 水源の水質保全	順調
イ. 原水の水質及び水質基準強化に対応した浄水処理の実施	順調
ウ. 残留塩素濃度の最適化	概ね順調
エ. 水源から給水栓までの統合的な水質管理	順調

水道利用者が安心して水道を利用できるよう、水質管理体制の強化に努めている。

(4) 事業を通じた社会貢献

ア. 地下水から県水への転換促進	概ね順調
イ. 電力使用量の削減及び再生可能エネルギーの導入	順調
ウ. 浄水発生土の有効利用	概ね順調
エ. 国際技術協力の充実及び水道の国際展開	順調

地盤沈下の抑制や省エネ対策、国際貢献など、国内最大規模の用水供給事業を通じた社会貢献に努めている。

(2) 事故・災害に強い水道

ア. 水源の早期安定化	概ね順調
イ. 水道施設の耐震化	要努力
ウ. 電力危機への対策の充実	順調
エ. 事故時を考慮した浄水予備力及び広域的な水運用機能の充実	概ね順調
オ. 受水団体と連携した緊急時の体制強化	順調
カ. 職員の危機管理能力の向上	概ね順調

事故や災害時に断水を生じないよう、ハード面・ソフト面を併せ、水道システム全体の強靱化を着実に進めている。
今後も、計画に基づいた事業の確実な実施により、目標の達成を目指していく。

(5) 利用者サービスの向上

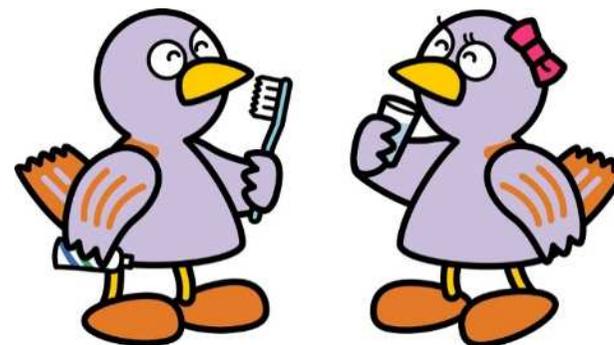
ア. 水道水の安全、水質に関する情報の適切かつ迅速な提供	順調
イ. 水道利用者及び受水団体が理解しやすい広聴広報活動の充実	順調
ウ. 水道利用者及び受水団体のニーズに応じた良質な水の供給	要努力
エ. 段階的な変動供給への移行	順調
オ. 水道利用者及び受水団体ニーズの把握	順調

利用者視点の事業運営に努め、積極的にニーズの把握や情報提供を行っている。
今後は、ニーズを捉えた上で、更なるサービスの向上を図っていく。

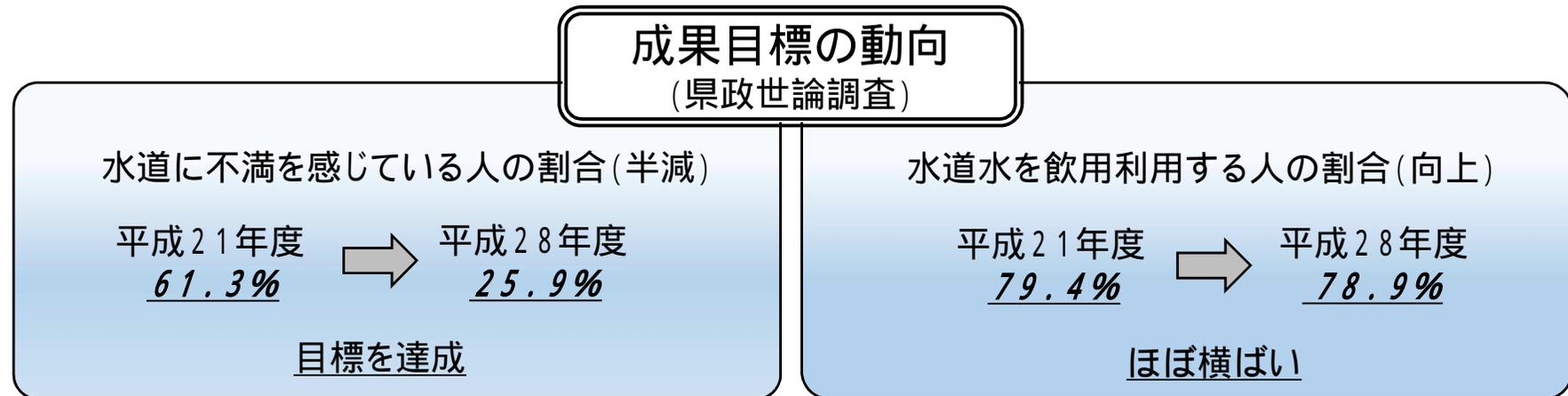
(3) 運営基盤の強化

ア. 将来の水需要を見据えた施設の更新及び施設能力の最適化	順調
イ. 財務運営の効率化	順調
ウ. 民間活力の導入も含めた組織体制の再構築	要努力
エ. 水道広域化の推進	順調

老朽化が進行する施設の更新を計画的に進めるとともに、事業経営の健全化に努めている。
今後は、より効率的な組織体制の構築の検討が必要。



埼玉県営水道長期ビジョン 前期終了時点の成果目標の動向



分析・今後の方針

県政世論調査の結果、成果目標の一つである「水道に不満を感じている人の割合」は大きく減少し、「半減」させるという目標を十分に達成できた。

これは、これまで実施してきたそれぞれの取組について、一定の効果があったと評価できる。

もう一つの成果目標である「水道水を飲用利用する人の割合」は8割弱と高い水準ではあるものの、ほぼ横ばいで推移しており、「向上」させるという目標を達成できていない。

水道に不満を感じている人の割合が減少しているにも関わらず、飲用利用する人が増えないということは、水道水を飲用する習慣があるかないかという問題であると考えられる。

今後は、これまでの各取組を引き続き実施するとともに、より多くの人に飲用してもらえるよう、浄水処理の改善を検討し、安全・安心な水道水の効果的なPRに取り組む。